

カヌーに乗ってびわ湖にふれよう

実施日 : 2017年8月4日(金)
後援 : 大津市教育委員会、OPAL
協賛 : 公益財団法人平和堂財団
参加者 : 32組 70名(キャンセル除く)

やや曇り空のなか、数倍の抽選で選ばれた親子がオーパルオプテックスに続々集合。合計70名全員で、10時から開会式。

まずは全員で水草の話を青木先生から説明を受け、湖岸で水草を採取し各自新聞紙ではさんで乾燥させパウチ作りの準備。その後、3班に分かれ、カヌー、プランクトン観察、外来魚調べを各々体験する。

カヌー：びわ湖トラストの旗を掲げた指導員のカヌーを先頭に、びわ湖大橋、背の高いホテルや湖岸の葦群生地を湖面から眺め、親子ともどもその楽しさを満喫。中にはカヌーに乗る間に、「怖い。」としり込みする女の子もいたが、指導員のお姉さんに諭され、二人でみんなの後を追いつき、後半は一人でスイスイ。着岸してニッコリ楽しかったとのこと。

プランクトン観察：事前にネットで採取されたプランクトンを各自が思い思いに顕微鏡で観察。肉眼では透明の水滴としか見えなかったのが、40倍に拡大されたレンズの向こう側でミジンコなどがピョーンとはねる様子にビックリ。

外来魚調べ：栈橋から釣竿で思い思いに釣り糸を垂れ、浮きの動きを見つめて、ジツ〜とまつ。エサはドックフードを細かくちぎったもの。吊り上げられるのはやはりブルーギルばかりで、数も年々減少。運よく釣れた子はにっこり。大人も集中して釣りを楽しんでいました。

3時過ぎには全員で閉会式。「いかがでしたか。」の問いに皆さん良かった、楽しかったとのこと。親子でびわ湖を知り、親しんでもらえた良い1日でした。

平和堂財団さんやオーパルオプテックスさんのご支援で、21012年から毎年天気に恵まれ、好評を博しながら継続できていることに改めて感謝する次第です。

文責 高木 順

